

2010.11.28 市民タイムス(26面)

11.22.11.28 市民タイムス

食と農で地域に活力 催しで情報交換味自慢コンテストも



試食とプレゼンテーションで自慢の味を比べたスローフードコンテスト

木曾町福島の木曾郡民会館で27日、やまびこフオーラム2010-11木曾（地域づくりネットワーク県協議会主催、市民タイムスなど後援）が開かれた。「地域資源を掘り起こす」スローフードからはじまる地域づくりをテーマに掲げ、暮らしに密接に関わる食や農を通じて情報を交換し、活力ある地域おこしについて考えた。

交流会まで含めた3部構成で、地元・木曾や松本など協議会の10支部が自慢の味を持ち寄る「スローフードコンテスト」。売り込むプレゼンティーン、ジなど、農畜産政策による、「木曽牛おやヨン」と試食で、それぞれつながる提案もあった。

「山賊焼き」などが魅力を訴えた。狹友会が魅力を訴えた。狹友会開会に際し、郡内の用意され、工夫や長所をじ手を携えた鹿肉ソーセ「ゆるキャラ」が郷土紹介をした。食環境ジャーナリストの金丸弘美さんによる「食と農が地域をつくる」と題した講演もあつた。

地域おこしに关心が高い団体や行政の関係者が集った。同協議会木曾支部長の稻垣康さんは「今回はスローフードに着目した。伝統的な食を通じて地元を見直し、元気を出すきっかけになれば」と話していた。

（肥後健一）